

夢づくり協働推進事業の実施状況 5

事業名

水島コンビナート環境体験ツアー

事業の概要

環境学習の場として優れた備中地域の特性を活かし、水島コンビナートの主要企業を訪問し、企業の環境対策や環境配慮製品の開発について学ぶとともに、瀬戸内海の景観や生物を素材として自然環境について学ぶ備中版エコツアーを管内在住の小学生(特に、その住環境から学習効果が高いと思われる管内北部居住の小学生)を対象に実施することにより、経済産業活動における環境対策の位置付けや経済的意義、瀬戸内海の海洋環境の実際について理解を深め、環境問題を自分のこととして捉え、行動できる次代の人材を育成する。

協働の主体・役割分担

協働の主体	役割分担内容
備中県民局 (財)水島地域環境再生財団	事業の基本的枠組みの企画立案、事業委託実施 具体的事業内容の企画立案、事業受託実施

実施状況

- 1 期 日 第1回：平成22年10月6日(水)
第2回：平成22年10月26日(火)
- 2 場 所 倉敷市水島(水島コンビナート)及び瀬戸内海上
- 3 参加者 新見市居住の小学生(4～6年生)及び引率教諭 87人(4小学校)
- 4 内 容
 - (1) 水島コンビナートの主要企業を訪問し、事業場内を見学しながら、企業の環境対策や環境配慮製品の開発について学んだ。
第1回訪問先：三菱化学(株)
第2回訪問先：JFEスチール(株)西日本製鐵所



(2) 船上から瀬戸内海の景観の優秀性を体感しながら、海域の水質調査や透明度調査を行うとともに、瀬戸内海内の島嶼部（豎場島、六口島）に上陸し、藻場の生物、海ごみ問題等について学んだ。



(3) 地産地消をテーマとした弁当を食べることで、地元食材を旬の時期に食することが輸送エネルギー等の低減にもつながり、地球温暖化防止の一助となることを学んだ。



成果・効果

備中県民局管内在住の小学生に水島コンビナート立地企業の環境対策や瀬戸内海の環境問題を知る機会を実地により提供することで、地域の未来を担う小学生に、高梁川の上流と下流の繋がりを感じてもらいながら、環境をキーワードとした様々な体験や学習を通じ、環境保全意識を身に付けさせることができた。